



神栖市-筑波大学協同プロジェクト

Brain Rescue KAMISU

平成27年度 成果報告

筑波大学医学医療系 脳神経外科
脳卒中予防・治療学
鶴田和太郎



脳卒中

血管が詰まるタイプ

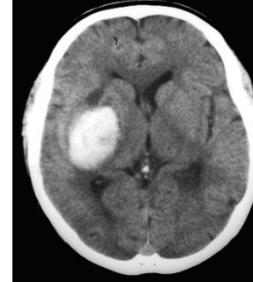
血管が破れるタイプ

一過性脳虚血発作

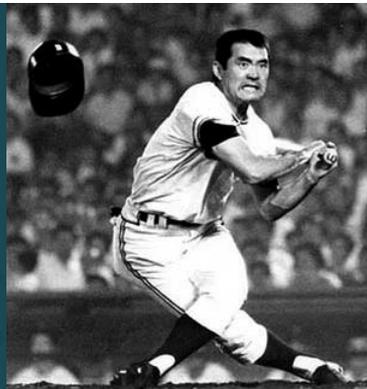
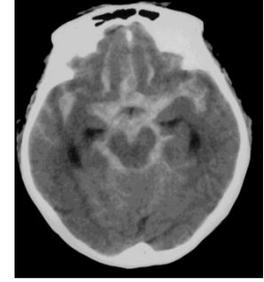
脳梗塞



脳出血

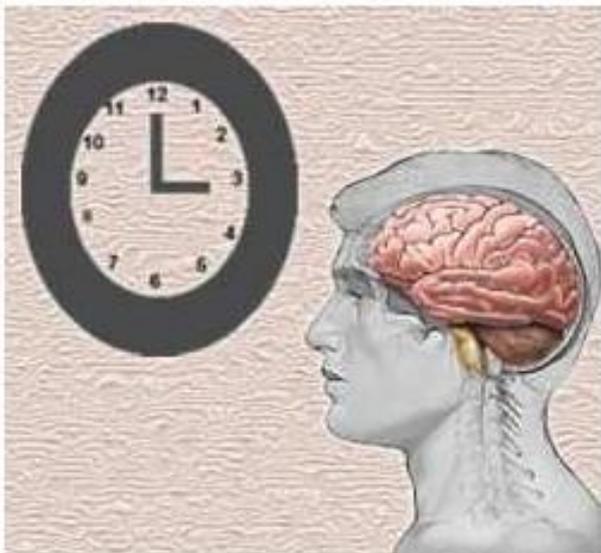


くも膜下出血

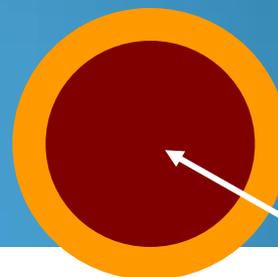
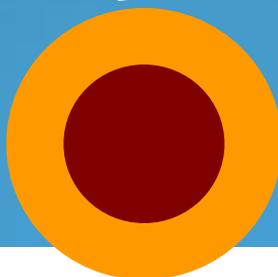
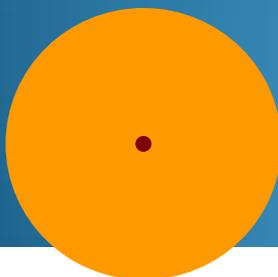


虚血時間と脳梗塞

TIME IS BRAIN



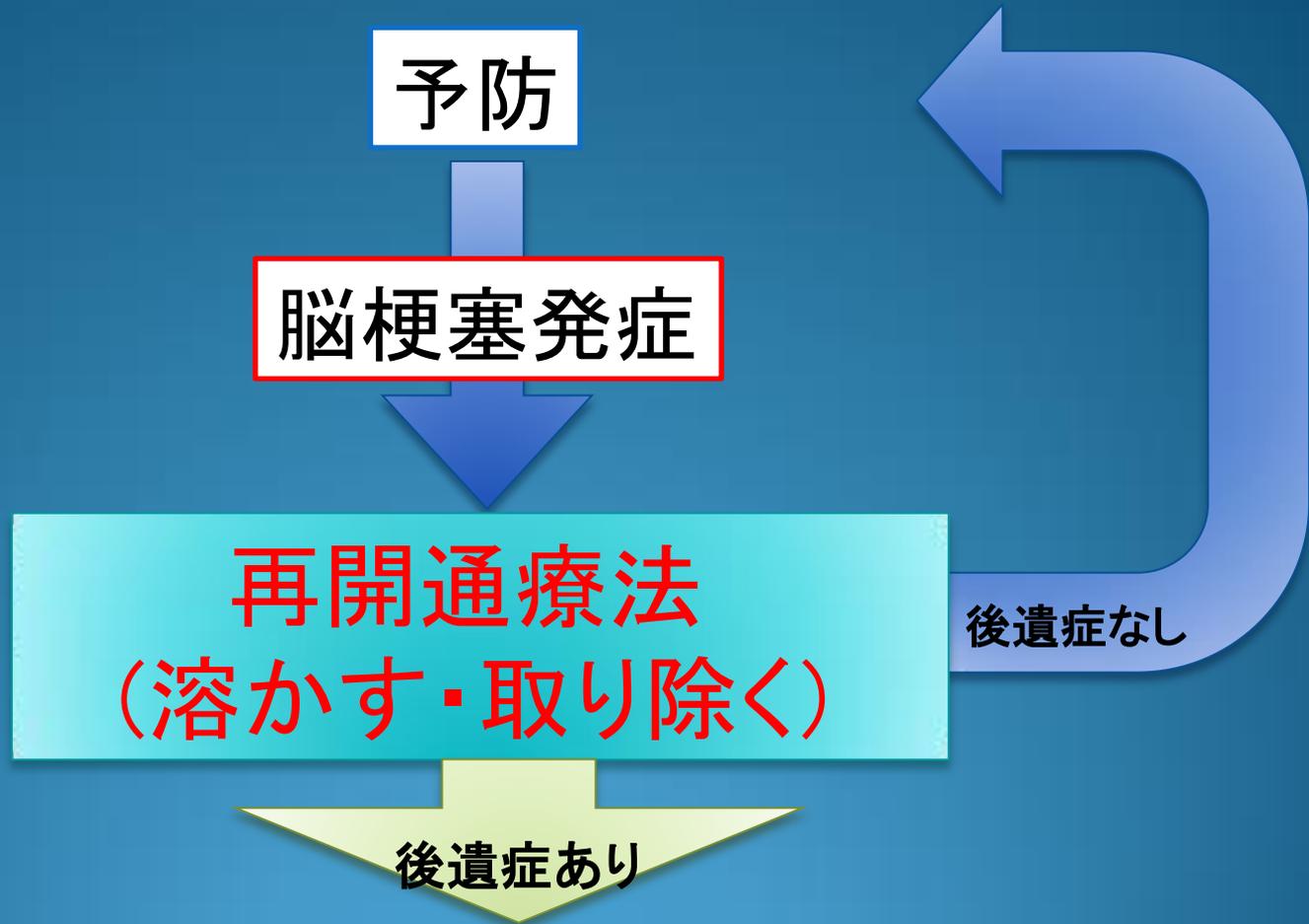
脳梗塞



脳梗塞



再開通療法の重要性

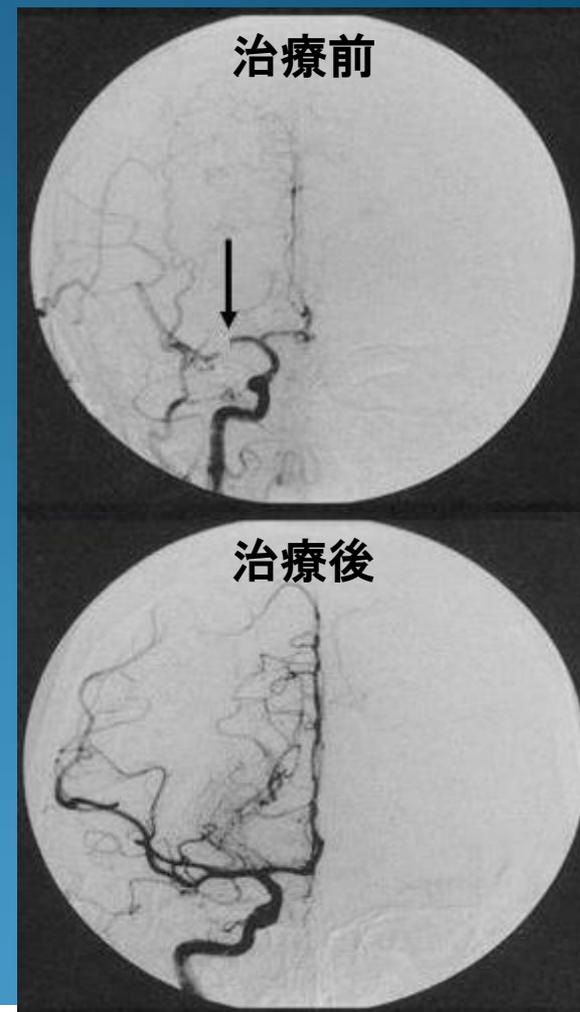


リハビリテーション、人生設計の変更



2005年 t-PA静注療法

tissue Plasminogen Activator



発症4.5時間以内

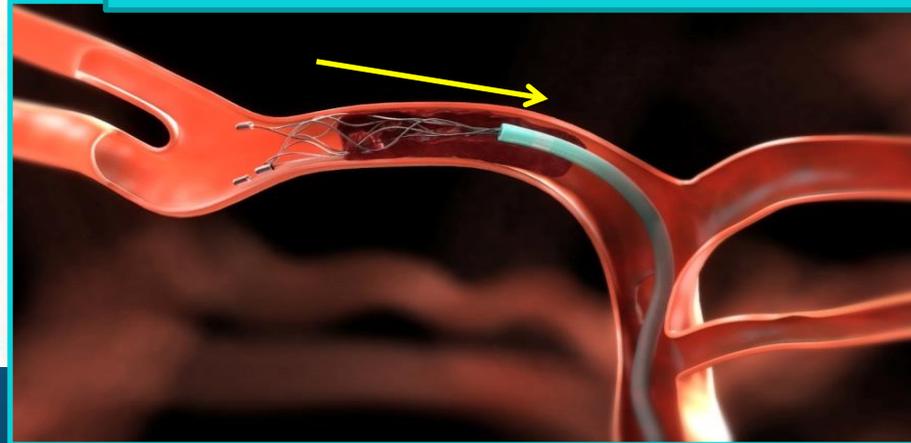


脳血管内治療：血栓回収術2010

～

発症6時間以内

脳神経血管内治療専門医が行う手術



2014～ ステント型血栓回収器



ベストな急性期再開通療法

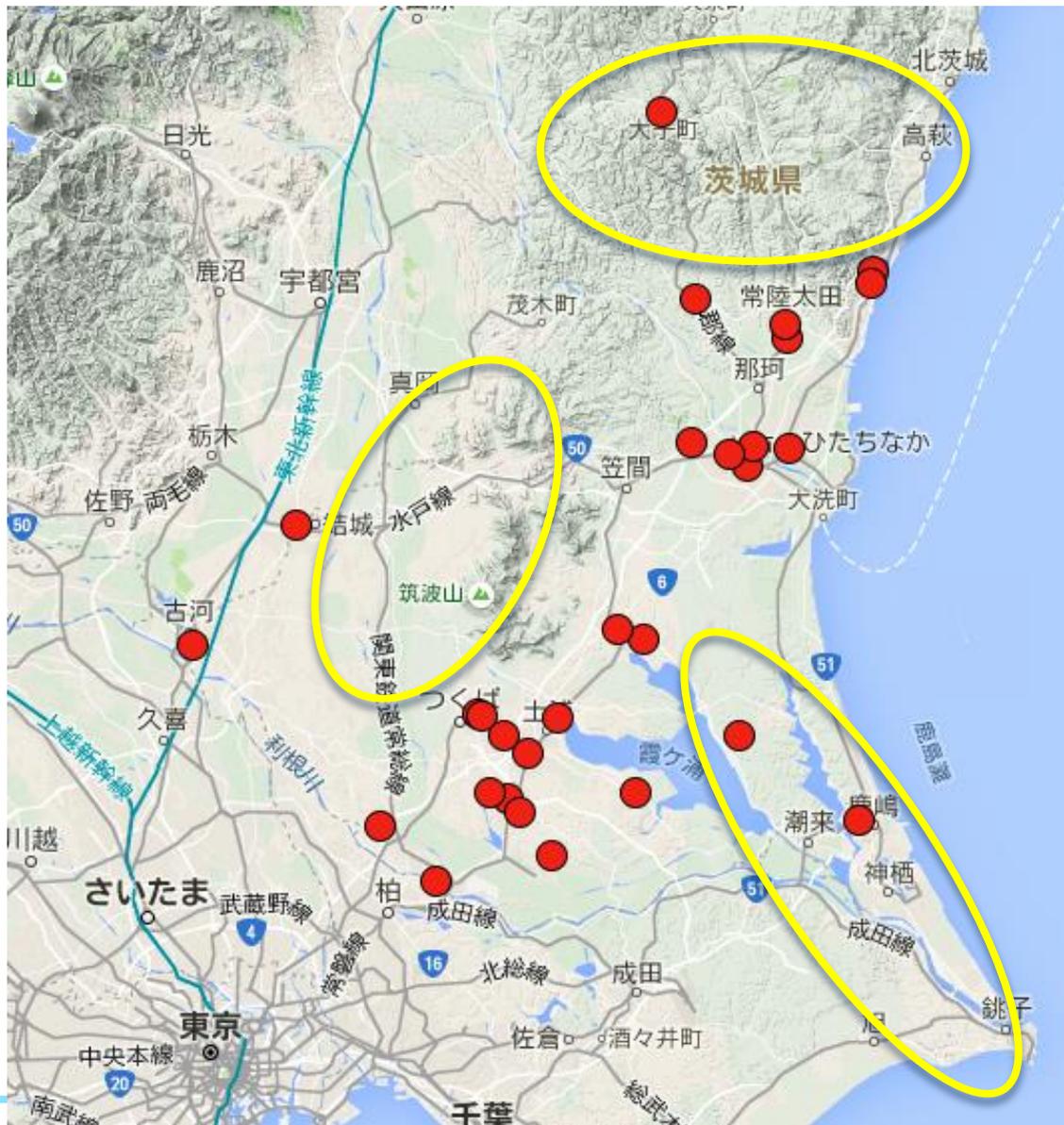
1. t-PA静注療法

適応外、無効な場合
速やかに

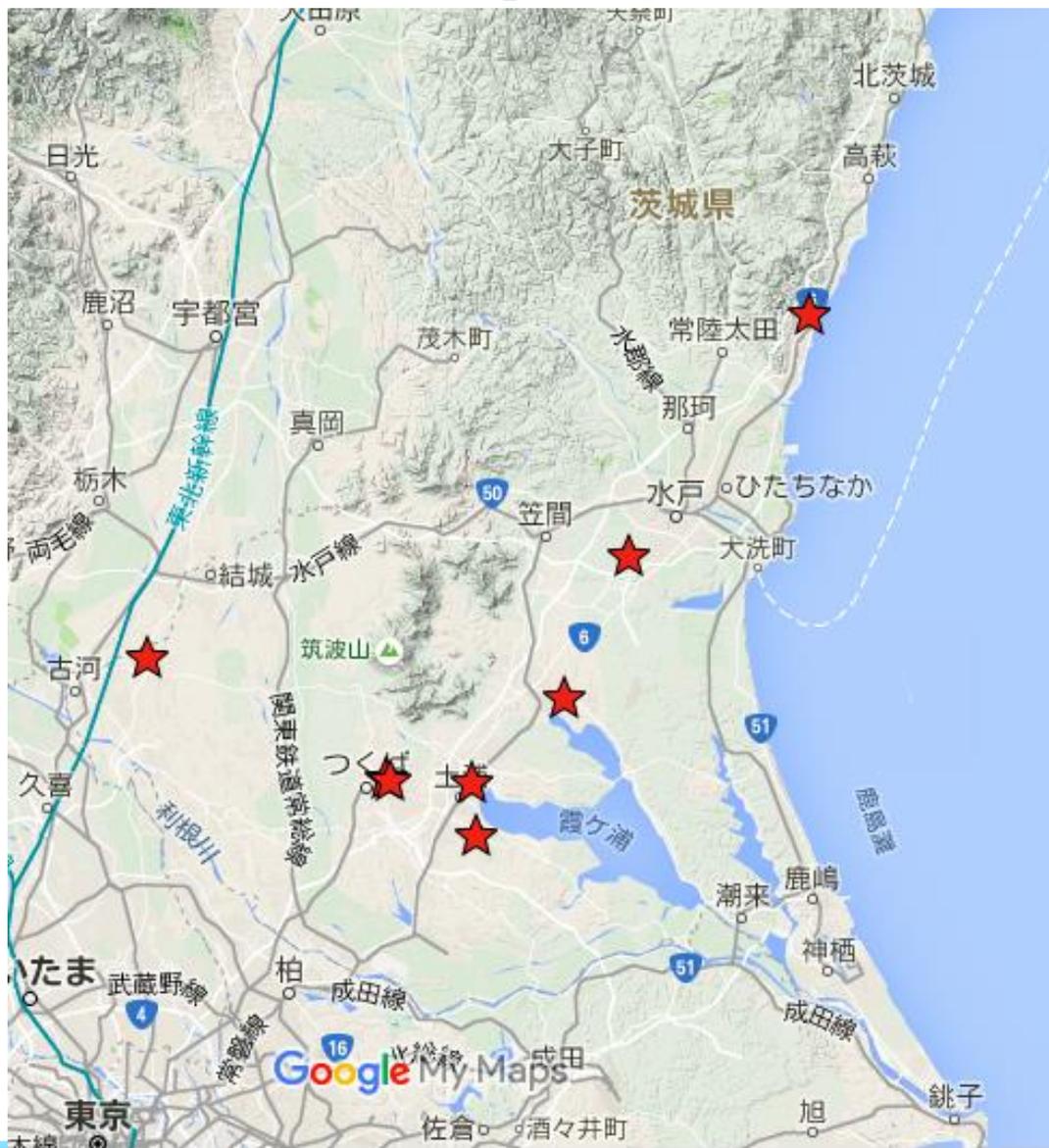
2. 血栓回収療法



t-PA療法を行っている病院



血管内治療専門医常勤病院



Department of Neurosurgery, Faculty of Medicine, University of Tsukuba



Drip & Ship system

Drip(t-PA点滴)



Ship(転送)



t-PA投与60分間

Retrieve
(血栓回収)



Drip & Ship system



脳血管内治療専門医勤務病院

2014

脳血管内治療専門医



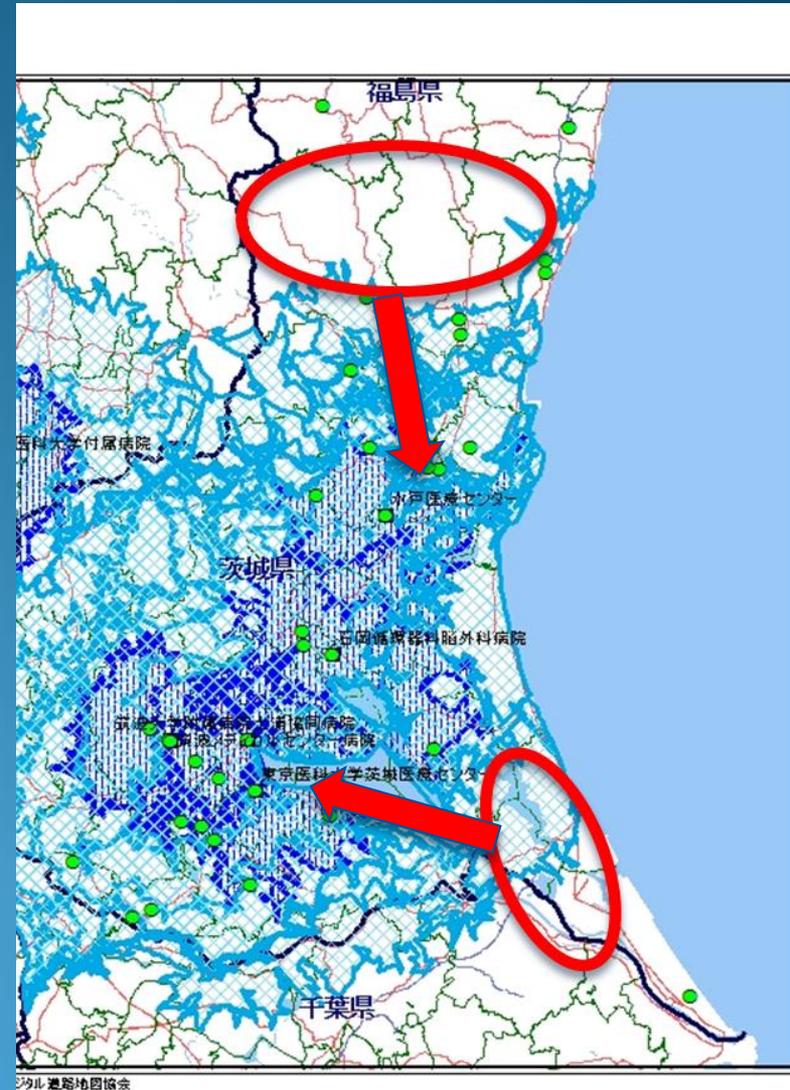
(C)2002-2010 PASC0 (C)1990-2010 INCREMENT P (C)2010 財団法人日本道路地図協会



Drip & Flight



Drip & High speed ship



Brain Rescue KAMISUの目的

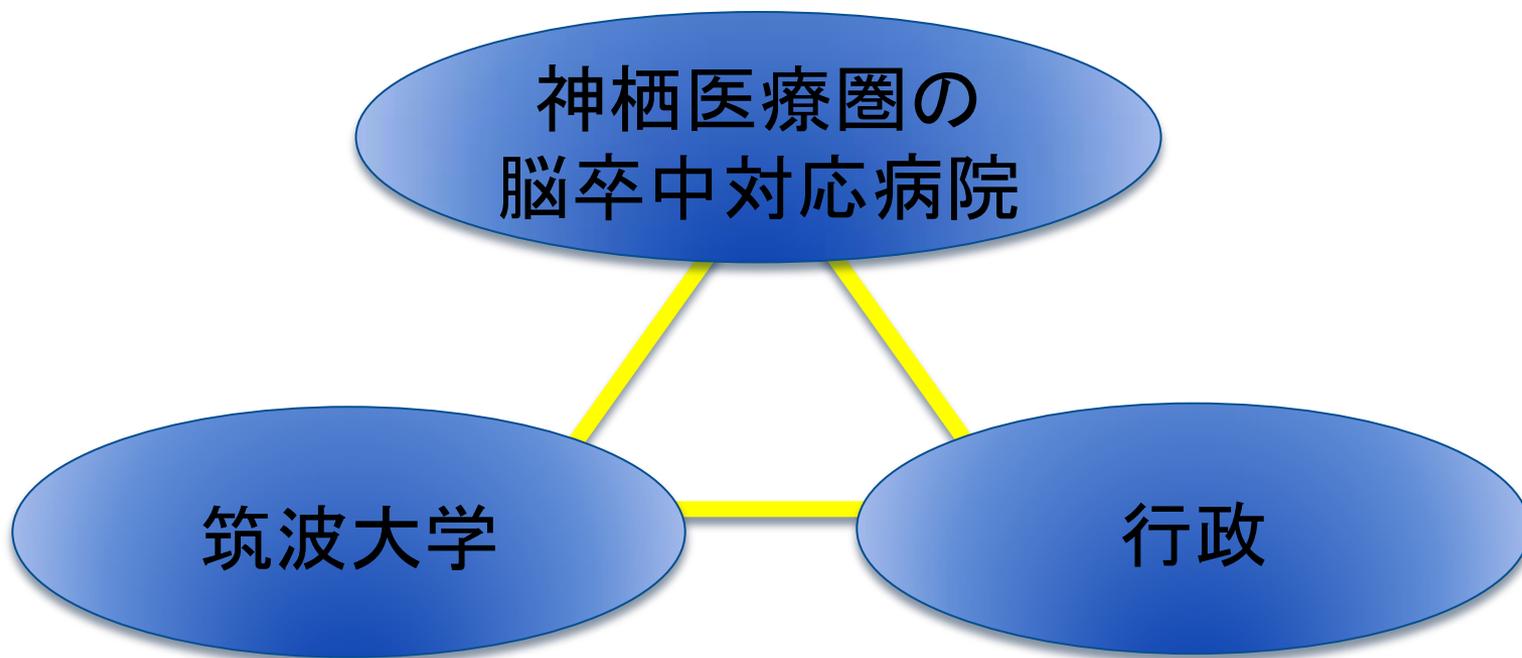
筑波大学と神栖市が連携し、神栖市の
脳卒中予防活動と脳卒中救急医療
システムの構築を推進する



脳卒中救急医療システムの構築

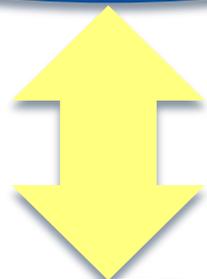
血管内治療専門医常勤病院への転送方法の確立

Drip & High Speed Ship, Drip & Flight



脳卒中救急医療システムの構築

神栖医療圏の
脳卒中对応病院



筑波大学

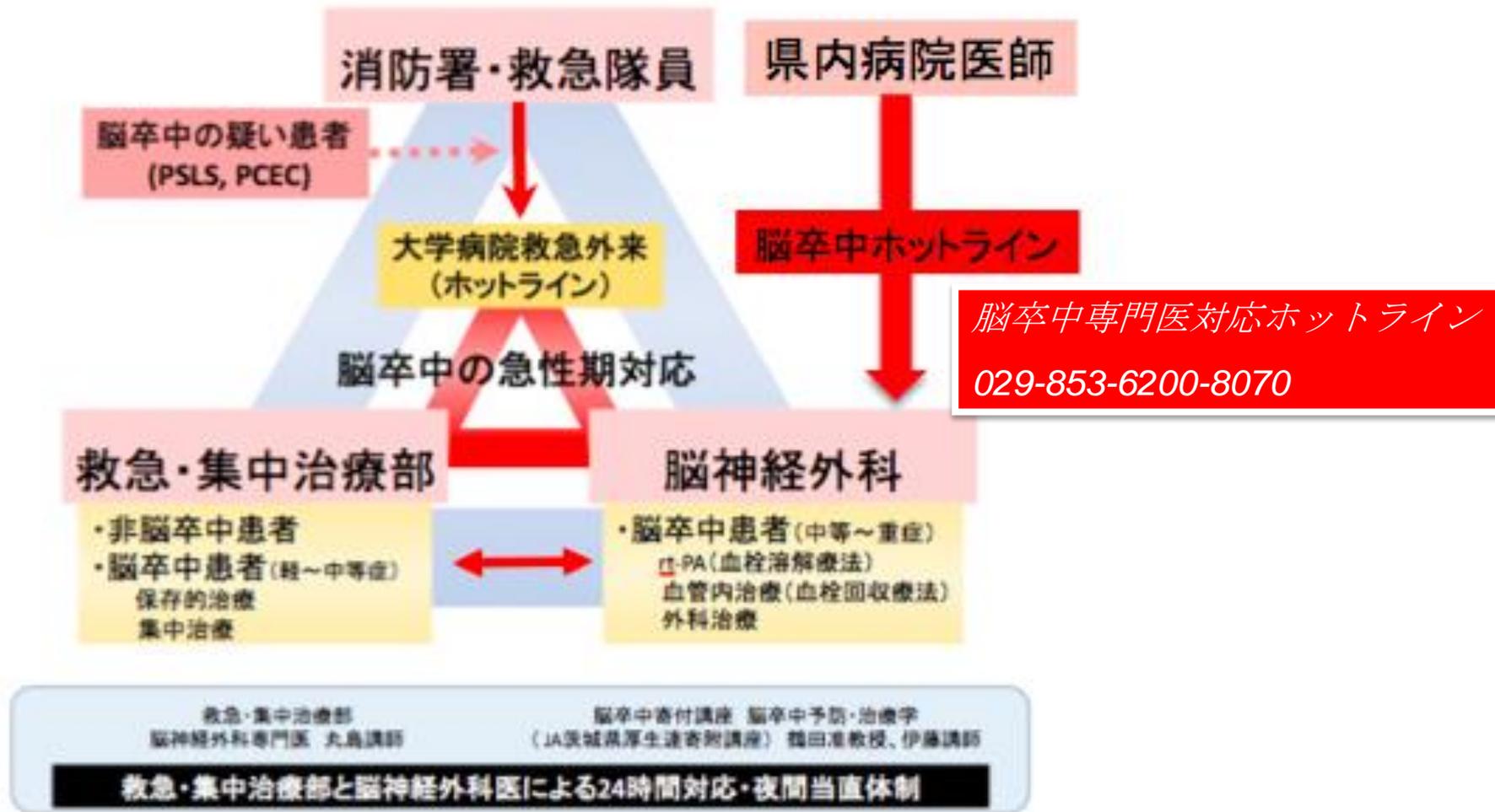
病院説明会・勉強会

患者情報共有ツール

受入体制の整備



筑波大学脳卒中救急受け入れ体制



筑波大学でのDrip & Ship の実績

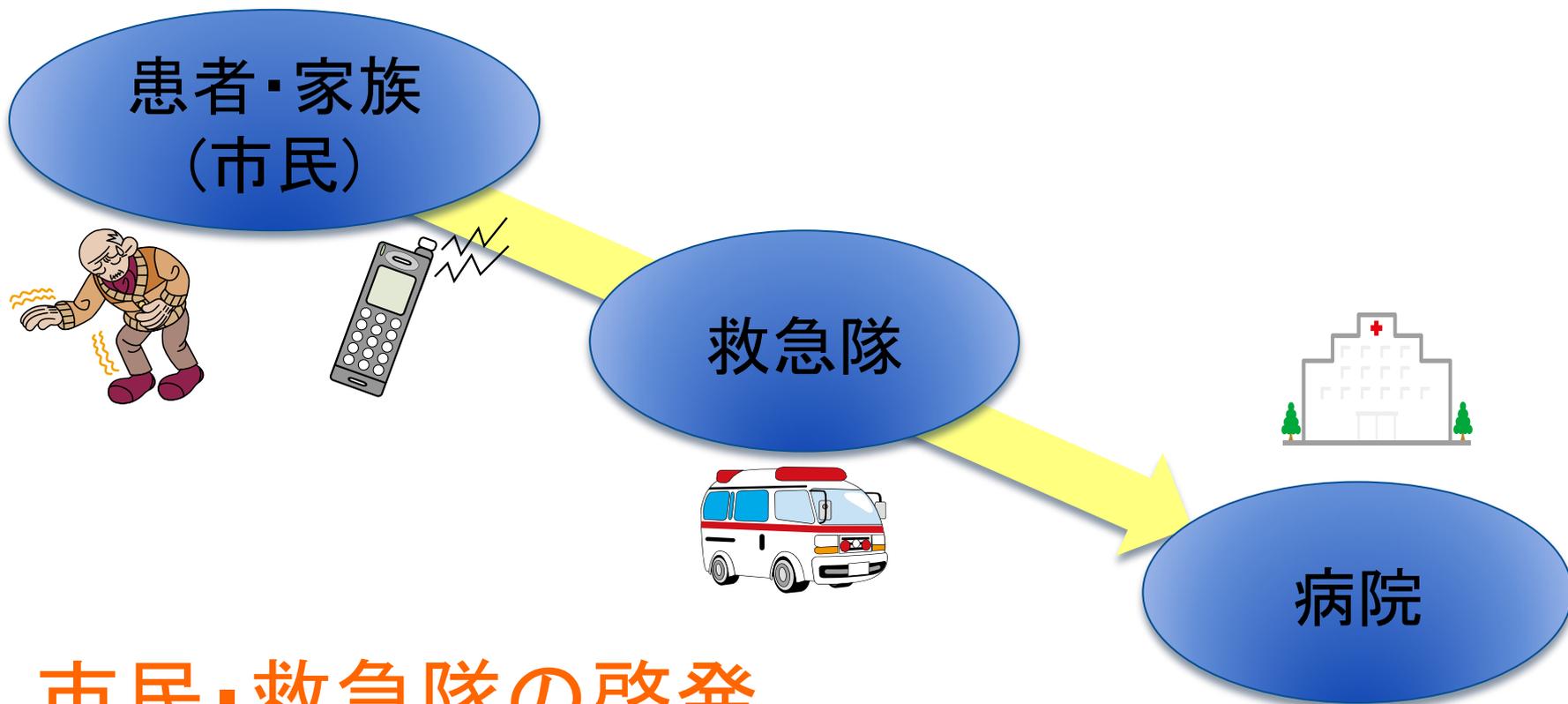
- 2014年6月～
栃木県



(C) INCREMENT P CORP.



脳卒中救急医療システムの構築



市民・救急隊の啓発





共同企画 脳卒中市民公開講座
 公益社団法人日本脳卒中協会茨城県支部
 神栖市・筑波大学共同プロジェクト
 ブレインレスキュー神栖
 第9回脳卒中市民公開講座

脳卒中市民公開講座



脳卒中市民公開講座

平成26年度神栖市集団検診
ハイリスク者(すぐに治療が必要な人)の状況

項目	男性	女性	合計
総数	10	11	21
高血圧	9	10	19
糖尿病	1	1	2
脂質異常症	1	1	2
喫煙者	1	1	2
肥満	1	1	2
合計	14	14	28

11.29.2015

「今、脳卒中と向き合う」

日時 平成27年11月29日(日)
 13:30-16:00 (開場13:00)

場所 平泉コミュニティセンター
 〒314-0146 茨城県神栖市平泉2751-2
■入場無料 事前登録不要

開会の辞:日本脳卒中協会茨城県支部 支部長
 筑波大学附属病院 病院長 脳神経外科 教授 松村 明先生

講演1部 『脳卒中を知ろう』

座長:なめがた地域総合病院 脳神経外科 部長 田畑 均先生

1. 神栖市の脳卒中予防活動 ～行政の立場から～
 神栖市役所 健康増進課 大滝 紀子先生
2. 神栖市における食塩摂取状況 ～脳卒中予防に向けて～
 筑波大学 医学医療系 社会健康医学 講師 山岸 良匡先生

講演2部 『地域でとりくむ脳卒中』

座長:日本脳卒中協会茨城県支部 副支部長
 筑波大学附属病院 日立社会連携教育研究センター
 脳神経外科 教授 小松 洋治先生

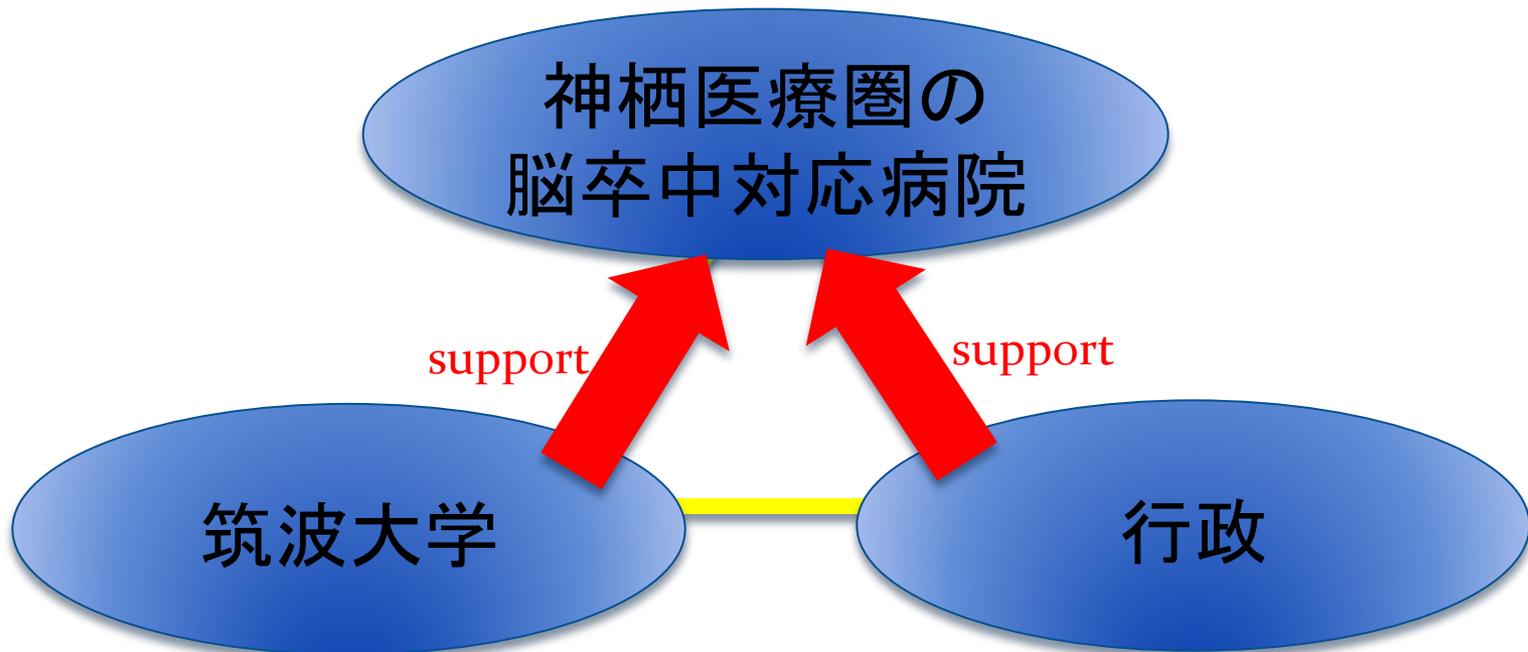
3. 脳卒中の予防～生活を変える心に福来る～
 白十字総合病院 病院長 鈴木 善作先生
4. 茨城県の脳卒中治療連携システムをつくるために
 筑波大学 医学医療系 脳卒中予防・治療学 准教授 鶴田和太郎先生

閉会の辞:筑波大学 医学医療系 脳神経外科 准教授 山本哲哉先生

共催:(公社)日本脳卒中協会茨城県支部、神栖市、筑波大学、大塚製薬(株)
 後援:茨城県医師会

脳卒中救急医療システムの構築 における課題

- マンパワーをいかに増やすか?
- 脳卒中治療連携が可能な施設は?



神栖・潮来地区保健師 脳卒中ミーティング

2016.2.25. 筑波大学

表3. 内服状況

	該当者数(人)	抗凝固薬	(新薬)抗凝固薬				抗血小板薬				内服なし
		ワーファリン	イグザレルト	プラザキサ	エリキュース	リクアシア	ブラビックス	バイアスピリン	シロスタゾール	パファリン	
全体	127	29	21	10	14	2	3	28	0	5	18
		22.8%	16.5%	7.9%	11.0%	1.6%	2.4%	22.0%	0.0%	3.9%	14.2%
		37.0%				28.3%					
男性)脳梗塞○	21	9	3	3	1	1	0	4	0	0	1
		42.9%	14.3%	14.3%	4.8%	4.8%	0.0%	19.0%	0.0%	0.0%	4.8%
		38.1%				19.0%					
女性)脳梗塞○	11	2	2	1	5	1	0	1	0	0	0
		18.2%	9.1%	45.5%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		81.8%				9.1%					
再掲 男女)脳梗塞○	32	11	5	4	6	2	0	5	0	0	1
		34.4%	15.6%	12.5%	18.8%	6.3%	0.0%	15.6%	0.0%	0.0%	3.1%
		53.1%				15.6%					
男性)脳梗塞なし	61	13	12	3	5	0	3	17	0	4	9
		21.3%	19.7%	4.9%	8.2%	0.0%	4.9%	27.9%	0.0%	6.6%	14.8%
		32.8%				39.3%					
女性)脳梗塞なし	34	5	4	3	3	0	0	6	0	1	8
		14.7%	11.8%	8.8%	8.8%	0.0%	0.0%	17.6%	0.0%	2.9%	23.5%
		29.4%				20.6%					



神栖・潮来地区保健師 脳卒中ミーティング

2016.2.25. 筑波大学

表1. 脳梗塞発症者の状況

	男性			女性			
	人数(人)	割合	CHA2DS2-VAScスコア 平均点	人数(人)	割合	CHA2DS2-VAScスコア 平均点	
心房細動所見者	82			45			
脳梗塞発症者	21	25.6%		11	24.4%		
内訳	1. 心房細動が先	12	57.1%	5.1	4	36.4%	5.7
	2. 脳梗塞が先	5	23.8%	5.6	5	45.5%	5.4
	3. 同時	4	19.0%	5.0	2	18.2%	4.5

表2. CHA2DS2-VAScスコア (75歳以上と女性除く)

	該当者数	心不全左 室機能不全 (1点)	高血圧 (1点)	糖尿病 (1点)	脳梗塞TIA 血栓塞栓 症(2点)	血管疾患(心 筋梗塞末梢 動脈疾患、 大動脈プ ラーク)(1点)	65~74歳 以下 (1点)	脂質 異常症	高尿酸
全体	127	90 70.9%	108 85.0%	58 45.7%	32 25.2%	75 59.1%	97 76.4%	68 53.5%	43 33.9%
男性)脳梗塞○	21	12 57.1%	20 95.2%	9 42.9%	21 100.0%	10 47.6%	16 76.2%	9 42.9%	11 52.4%
女性)脳梗塞○	11	7 63.6%	8 72.7%	5 45.5%	11 100.0%	7 63.6%	10 90.9%	7 63.6%	1 9.1%
男女)脳梗塞○	32	19 59.4%	28 87.5%	14 43.8%	32 100.0%	17 53.1%	26 81.3%	16 50.0%	12 37.5%
男性)脳梗塞なし	61	49 80.3%	51 83.6%	30 49.2%	0 0.0%	41 67.2%	48 78.7%	34 55.7%	25 41.0%
女性)脳梗塞なし	34	22 64.7%	29 85.3%	14 41.2%	0 0.0%	17 50.0%	23 67.6%	18 52.9%	6 17.6%



総括

- 平成27年度はBrain Rescue KAMISU 活動の足場作りが中心となった。
- 脳卒中救急医療連携システム(ドリップ&シップ)の構築については、院内体制の整備と近隣施設との連携に留まっている。本年度は神栖地区の連携病院(送る側)の体制作りにも力を入れ、神栖地区からのドリップ&シップを実現する。
- 脳卒中ホットラインは開設後、有効な患者情報交換システムとまでは機能しておらず、さらなる地域病院への周知が必要である。
- 市民公開講座は地域住民が興味を持てる内容で提供できており、来年度は回数を増やして開催したいと考えている。
- 本年度の新たな展開として、神栖地区小学校への脳卒中出前授業、神栖・潮来の保健師対象の脳卒中勉強会を予定している。

